

授業科目	小児矯正学（歯科矯正学）		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	歯周病態学、歯顎口腔機能再建外科学、歯顎口腔病態外科学
年次・期別	1年次～4年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	診療室、顎顔面口腔矯正学分野研究室	担当者電話番号	086-235-6692（山城 隆）
担当教員	【研究科】教授：山城 隆、准教授：上岡 寛、助教：本城 正、菅原康代、黒坂 寛 【病院】講師：川邊紀章、助教：藤井昭仁、村上 隆		
一般目標	演習、実習を通して、矯正歯科専門医に必要なより実践的な知識および臨床能力の獲得を目指す。セミナーでの発表、質問を通じて歯科矯正学に関する知識、理解度を深める。演習により歯科矯正学における診断、治療を学び、さらに臨床実習において患者配当を受け臨床手技向上を図る。		
到達目標	講義、基本実習、演習セミナー、臨床実習等を通して、矯正歯科医療に関し、適切かつ十分な学識と経験を得ることにより日本矯正歯科学会が定める認定医を申請するに十分な知識と臨床経験を積む。		
講義概要	<p>1) 歯科矯正学セミナー：山城、上岡、川邊、本城、菅原、黒坂、藤井、村上 毎週開催される教室セミナーに参加し、順次回ってくる順番によって文献紹介を行う。文献紹介によって最新の知識を吸収するとともに、参考文献等、その文献に関連した事項を調べることにより、さらに知識を深めるとともに問題点等を検証する。また、担当指導教官のもと、歯科矯正学に関連したテキストの輪読会を行い、顎口腔系の正常な形態と機能を理解し、不正咬合とそれに伴う顎顔面形態や機能異常の病態を正しく把握することによって歯科矯正治療に必要な知識を身につける。特に顎顔面領域における成長発育に関して学び、小児患者の治療方針を立案する場合の一助とする。</p> <p>2) 診断演習、治療学演習：山城、上岡、川邊、本城、菅原、黒坂、藤井、村上 小児患者の症例に関して、そのセファロ分析、模型分析等を行い、診断、プロブレムリスト作成、治療方針の立案を通じ、指導教官と討論し、歯科矯正治療の臨床に資する診断力を養い、その他の症例においても自ら診断し、治療方針の立案ができるほどの実践的演習を行う。</p> <p>3) 歯科矯正学実習：山城、上岡、川邊、本城、菅原、黒坂、藤井、村上 ワイヤーベンディングを含む基本的矯正学的手技のトレーニング、タイポドントを用いた実習を行った後、小児患者を通じて、診断演習、治療学演習で行われたセファログラム、模型分析をはじめとする症例分析を行い、自ら診断、治療方針の立案し、日本矯正歯科学会認定医資格を有する指導教官のもと臨床実習が行われる。一般症例に加えて、唇顎口蓋裂を含む先天異常患者に関する臨床実習が行われる。また、リンガルアーチ、アクチベーター等、矯正装置の作製実習を行う。</p> <p>4) 学会参加（講義、演習）：学会参加の教員 日本矯正歯科学会に参加し、他発表者の論理展開を理解する。学内のみならず、学外の研究者との交流によって議論を発展させ、より深い追求心が生まれる。また、認定医（5年間）取得のために、学術大会参加、専門医研修セミナーに参加し、知識を深める。また、臨床症例報告ができるように準備する。</p>		
テキスト・参考書等	“Contemporary Orthodontics, Orthodontics Current Principles and Techniques 4th ed. “Mosby by Proffit その他、歯科矯正臨床、歯科矯正学研究に関する論文についてはその都度指示する。		
成績評価基準 成績評価方法	配当された患者の教授診において、その症例の分析、診断、治療方針の立案等を鑑み、歯科矯正臨床に対する理解到達度を確認、評価する。		
研究活動との 関連	本教室においては、骨組織にメカニカルストレスを与えたときの反応や歯の矯正的移动によって生じる痛みの制御等、基礎的研究をはじめとして、不正咬合を有する患者や顎関節症を有する患者の下顎運動の研究等、臨床的研究まで幅広く行われており、本カリキュラムと密接に関係している。		

基礎実習	1年次にセファロトレース分析実習、タイポドント実習を行う。
臨床実習	混合歯列期における動的治療の症例（3～5症例）で、動的治療開始前の資料採得、症例分析、診断、治療方針の立案、装置の作製、動的治療の遂行のすべてを指導者の下で主治医として自ら行う。
症例検討会	症例検討会は、毎週火曜日に行う。
講義日程	<p>講義は火曜日、歯学部4階講義室にて午後4時から行う。現時点の講義予定を以下に示す。変更になる場合には、登録大学院生に事前に通知する。</p> <p>2009/06/11 口蓋裂各論 上岡 寛 2009/10/22 埋伏歯 村上 隆 2009/11/05 矯正治療の副作用 本城 正 2009/11/19 アングルⅡ級の治療 藤井昭仁 2009/12/03 アングルⅢ級の治療 菅原康代 2009/12/17 心理学 黒坂 寛 2010/01/07 外傷歯 藪内利憲 2010/02/18 医用統計 川邊紀章 2010/03/04 矯正治療とアレルギー 山城 隆</p>
本年度参加が望ましい学会等	<p>第68回日本矯正歯科学会大会 日時：平成21年11月 会場：福岡</p>